

## 508) レインコート

朝晩すっかり冷え込んできたある日、朝がたは穏やかに晴れていたの、我輩はいつもより早めに家を出た。といっても特に理由があった訳ではない。たまたま早く支度ができたからである。ところが午後一雨あって、帰り時刻になると、急に寒くなってきた。オイラは今日は早めに家に帰ることにした。もうこの所しばらく子供の顔も見てなかったからである。ところが家に帰ると女房殿が、「どこでコートを買ってきたの？」と詰問するように言うではないか。「えっ、買ってないよ。」と我輩はちょっとたじろぎながら答えると、女房殿は「私の目はごまかせないからね。」とまるで釘を差すように言うのである。やれやれとんだ濡れ衣だなと思いつつコートを脱ぐと、そのコートは確かに丈も少し袖が長いようであった。そして女房殿は急に笑い出して、「あなた田中さんのコートを盗んできたの？」というではないか。そんな人聞きが悪い。我輩がそんなことするわけないだろう。事もあるうに自分の部下のコートを盗んだりするなんて。でも理由はすぐに分かった。確かに女房殿が言うように、今朝我輩は暖かかったからコートを着ないで家を出たのであった。しかし寒さが増してきた帰り、無意識のうちに他人のコートを着て帰ってきてしまったのである。田中！御免、家まで寒かったらうな～。